

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

水稻海外飛来性害虫の飛来状況（技術情報第6号）について（送付）  
このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

## 記

### 【飛来および発生状況】

#### 1 トビイロウンカ

- (1) 合志市の予察灯では、6月27日に初飛来を確認し、その後、7月3～5日、7月13～15日に飛来が認められた。天草では7月16日現在飛来を確認していない（表1）。
- (2) 合志市における6月1半旬から7月3半旬までの予察灯の累積誘殺数は25頭（平年98頭、昨年17頭）で平年より少なく、昨年よりやや多かった（表2）。

#### 2 セジロウンカ

- (1) 予察灯における6月1半旬から7月3半旬までの累積誘殺数は、合志市が79頭（平年2,826頭、昨年5頭）、天草市が48頭（平年963頭、昨年6頭）で、平年より少なく、昨年より多かった（表3）。
- (2) 7月中旬の早期水稻の巡回調査では、株当たり成幼虫数が0.01頭（平年0.77頭）で、平年より少なかった。

#### 3 コブノメイガ

- (1) フェロモントラップ調査では、天草市で6月23日に初飛来を確認し、その後6月30日～7月1日に飛来が認められた。合志市では7月16日現在飛来を認めていない（表1）。

### 【防除について】

本年の海外飛来性害虫の飛来量は少ない。しかし、ほ場での発生量は、地域や品種、箱施薬剤の種類により異なるので、防除適期前に発生状況を確認し、防除要否を判断する。

- 1 トビイロウンカの防除適期は、飛来状況に応じて表4のように予想される。水田における発生状況を確認し、成幼虫数が要防除密度（7月下旬～8月上旬 20頭/100株、8月中旬～下旬 100頭/100株）を超える場合は防除する。
- 2 セジロウンカの要防除水準（活着後）は6～10頭/株である。飼料用や米粉用の水稻には、セジロウンカの増殖に好適な品種があるので、特に注意する。
- 3 コブノメイガの発蛾最盛期は、飛来量が少ないため、ウンカの飛来状況により表5のように予想される。水田における発生状況を観察し、要防除水準（第1世代幼虫による被害株率が20%以上）を超える場合は防除する。

※今後の発生状況、防除対策については防除所ホームページ「<http://www.jpnpn.ne.jp/kumamoto/>」上に掲載します。

(表1)

平成26年度 ネットトラップ・予察灯における水稻海外飛来性害虫の誘殺数

フェロモントラップ： 各2個の合計

※ 数日間まとめて調査した場合は、調査日にデータを記入した

Table with columns for survey date, location (Tsuetsuru City, Gassho City), trap type (Net trap, Bait trap), and pest count. Includes handwritten notes like '初飛来' (first flight) and '設置' (installation).

(表2)

予察灯におけるトビイロウンカの半月毎の誘殺数 生産環境研究所(合志市)

Table showing weekly pest counts for the trap light at the Production Environment Research Institute (Gassho City) from June to July.

天草農業研究所(天草市)

Table showing weekly pest counts for the trap light at Tenkaku Agricultural Research Institute (Tenkaku City) from June to July.

(表3)

予察灯におけるセジロウンカの半月毎の誘殺数 生産環境研究所(合志市)

Table showing weekly pest counts for the trap light at the Production Environment Research Institute (Gassho City) from June to July.

天草農業研究所(天草市)

Table showing weekly pest counts for the trap light at Tenkaku Agricultural Research Institute (Tenkaku City) from June to July.

(表4) 予想されるトビイロウンカの防除適期<sup>注)</sup>  
(6月27日飛来)

地点	防除適期 <sup>注)</sup> (第1世代幼虫)	防除適期 <sup>注)</sup> (第2世代幼虫)
三角	7月18～25日	8月15～22日
岱明	7月18～25日	8月14～21日
鹿北	7月19～26日	8月18～25日
菊池	7月18～25日	8月16～23日
阿蘇乙姫	7月22～29日	8月27～9月2日
甲佐	7月18～25日	8月16～23日
八代	7月18～25日	8月14～21日
水俣	7月18～25日	8月16～23日
人吉	7月19～26日	8月18～25日
本渡	7月19～26日	8月16～23日

(7月3日飛来)

地点	防除適期 <sup>注)</sup> (第1世代幼虫)	防除適期 <sup>注)</sup> (第2世代幼虫)
三角	7月22～29日	8月19～26日
岱明	7月22～29日	8月18～25日
鹿北	7月23～30日	8月23～30日
菊池	7月23～30日	8月20～27日
阿蘇乙姫	7月26日～8月1日	8月31日～9月6日
甲佐	7月23～30日	8月20～27日
八代	7月22～29日	8月19～26日
水俣	7月22～29日	8月20～27日
人吉	7月23～30日	8月22～29日
本渡	7月23～30日	8月20～27日

(7月13日飛来)

地点	防除適期 <sup>注)</sup> (第1世代幼虫)	防除適期 <sup>注)</sup> (第2世代幼虫)
三角	7月31日～8月6日	8月28日～9月3日
岱明	7月30日～8月5日	8月27日～9月2日
鹿北	8月1～7日	9月1～7日
菊池	7月31日～8月6日	8月29日～9月4日
阿蘇乙姫	8月4～10日	9月10～16日
甲佐	7月31日～8月6日	8月29日～9月4日
八代	7月30日～8月5日	8月27日～9月2日
水俣	7月31日～8月6日	8月29日～9月4日
人吉	7月31日～8月6日	8月31日～9月6日
本渡	7月31日～8月6日	8月29日～9月4日

注) ・6月27日、7月3日、7月13日の飛来を起点として、各地点のアメダスデータ平均気温(7月15日までは今年のデータ、7月16日以降は平年値)を基に、有効積算で今後の生育ステージを予測した。

・有効積算は下記の条件で行った。

ステージ	有効積算温度(日度)	発育0点(°C)
成虫	125	12
卵	135	11.4
幼虫	250	6.5

(表5) 予想されるコブノメイガの発蛾最盛期<sup>注)</sup>  
(6月21日飛来)

地点	第1世代発蛾最盛期 <sup>注)</sup>	第2世代発蛾最盛期 <sup>注)</sup>
三角	7月29～31日	8月28～30日
岱明	7月27～30日	8月26～28日
鹿北	7月31日～8月3日	9月2日～6日
菊池	7月29～31日	8月29日～9月1日
阿蘇乙姫	8月5～10日	-
甲佐	7月29～31日	8月29日～9月1日
八代	7月28～30日	8月27～29日
水俣	7月29～31日	8月29～31日
人吉	7月30日～8月2日	9月1～4日
本渡	7月30日～8月1日	8月30日～9月2日

(6月27日飛来)

地点	第1世代発蛾最盛期 <sup>注)</sup>
三角	8月1～4日
岱明	7月31日～8月3日
鹿北	8月4～6日
菊池	8月2～4日
阿蘇乙姫	8月10～13日
甲佐	8月2～4日
八代	7月31日～8月3日
水俣	8月1～4日
人吉	8月3～6日
本渡	8月2～5日

本田防除剤の散布適期は、粒剤が発蛾最盛期、粉剤、液剤は若齢幼虫期(発蛾最盛期1週間後)である。

注)・6月21日,6月27日を起点として、各地点のアメダスデータ平均気温(7月15日までは今年のデータ、7月16日以降は平年値)を基に、有効積算で今後の生育ステージを予測した。

・有効積算は下記の条件で行った。

ステージ	有効積算温度(日度)	発育0点(°C)
成虫	50	13
卵	50	13
幼虫	250	12.5
さなぎ	90	14.2

熊本県病害虫防除所

(熊本県農業研究センター 生産環境研究所  
病害虫研究室 予察指導係)

担当：山口 TEL 096-248-6490